

# 超高齢化社会における 新たなビジネスモデルの構築

～安心して暮らせる豊かな地域社会の建設を目指して～

J A そお鹿児島  
瀬戸口 浩明

# 目次

01 協同組合の役割

02 超高齢化社会と認知症

03 JAグループのこれまでの取り組みと展開

04 外部企業の先進的取り組み事例について

05 なぜ、JAが認知症対策に取り組むのか

06 改革提案

07 改革後のビジョン

「地域に根差した組織」として、  
「言葉」だけではなく、  
高齢者に対して、  
」Aが果たすべき役割があるのではないか

# 目次

01 協同組合の役割

02 超高齢化社会と認知症

03 JAグループのこれまでの取り組みと展開

04 外部企業の先進的取り組み事例について

05 なぜ、JAが認知症対策に取り組むのか

06 改革提案

07 改革後のビジョン

# 01 協同組合の役割

## ① 95年原則

第7原則「地域社会への係わり」

協同組合が一定地域を事業の範囲として、また地域における重要な機関として存在している以上、住みよい地域社会建設のために、一定の役割を担っていかなければならない

## ③ 第30回JA全国大会

「II 暮らし・地域活性化戦略」

- ①活動・事業を通じた豊かなくらしの実現
- ②協同組合としての強みの発揮
- ③総合事業による豊かなくらしの実現
- ④活動・事業を通じた地域社会の活性化

## ② JA綱領

JAの役割と位置づけ

- ①「地域農業の振興」
- ②「安心して暮らせる地域社会建設」

## ④ JAそお鹿児島 基本理念

「JAに結集する人と大地のエネルギー」

「人のしあわせ」には、いのち、くらし、自由、安全、安心などの条件があり、これらの条件を充たすのがJAの協同活動

# 01 協同組合の役割：目指すべき姿

## 目指すべき姿

- ・ 組合員・地域住民が安心して暮らせる  
豊かな地域社会
- ・ 組合員と地域住民が事業を通じて繋がり、  
地域を活性化し、持続可能な地域づくりに貢献する

# 目次

01 協同組合の役割

02 超高齢化社会と認知症

03 JAグループのこれまでの取り組みと展開

04 外部企業の先進的取り組み事例について

05 なぜ、JAが認知症対策に取り組むのか

06 改革提案

07 改革後のビジョン

# 02 超高齢化社会と認知症：高齢化の現状と推移

## ① 高齢化の現状(全国)

2023年10月1日

日本の総人口 : 1億2,435万人

うち65歳以上の人口 : 3,623万人

**高齢化率 29.1%**

→ 「約3.4人に1人が高齢者」

## ② 高齢化の将来推計(全国)

2070年

65歳以上 高齢化率 38.7%

→ 「約2.6人に1人が高齢者」

総人口に占める75歳以上の割合

25.1% → 約4人1人が75歳以上

## ③ 当JAの高齢化率

2023年10月1日

鹿児島県 65歳以上 高齢化率 **33.8%**

当JA管内 65歳以上 高齢化率

①曾於市 **41.5%**

②志布志市 **36.0%**

③鹿屋市 **29.9%**

④大崎町 **39.4%**

## ④ 当JAの組合員年齢分布

組合員全体に占める65歳以上の割合

正組合員 **約72%**

准組合員 **約42%**

# 02 超高齢化社会と認知症：認知症の現状と影響

## ① 認知症の現状

|         |        |          |
|---------|--------|----------|
| 2022年時点 | 認知症患者  | 約443万人   |
| 2060年推計 | 認知症患者  | 約645万人   |
| 2022年時点 | 軽度認知障害 | 約558.5万人 |
| 2060年推計 | 軽度認知障害 | 約632.2万人 |

## ② 認知症の社会的影響

- ① **家族への負担**  
介護には身体的・精神的な負担が伴い、  
家族の健康や生活の質に影響
- ② **地域社会への影響**  
地域社会における支援体制の強化

## ③ 認知症の経済的影響

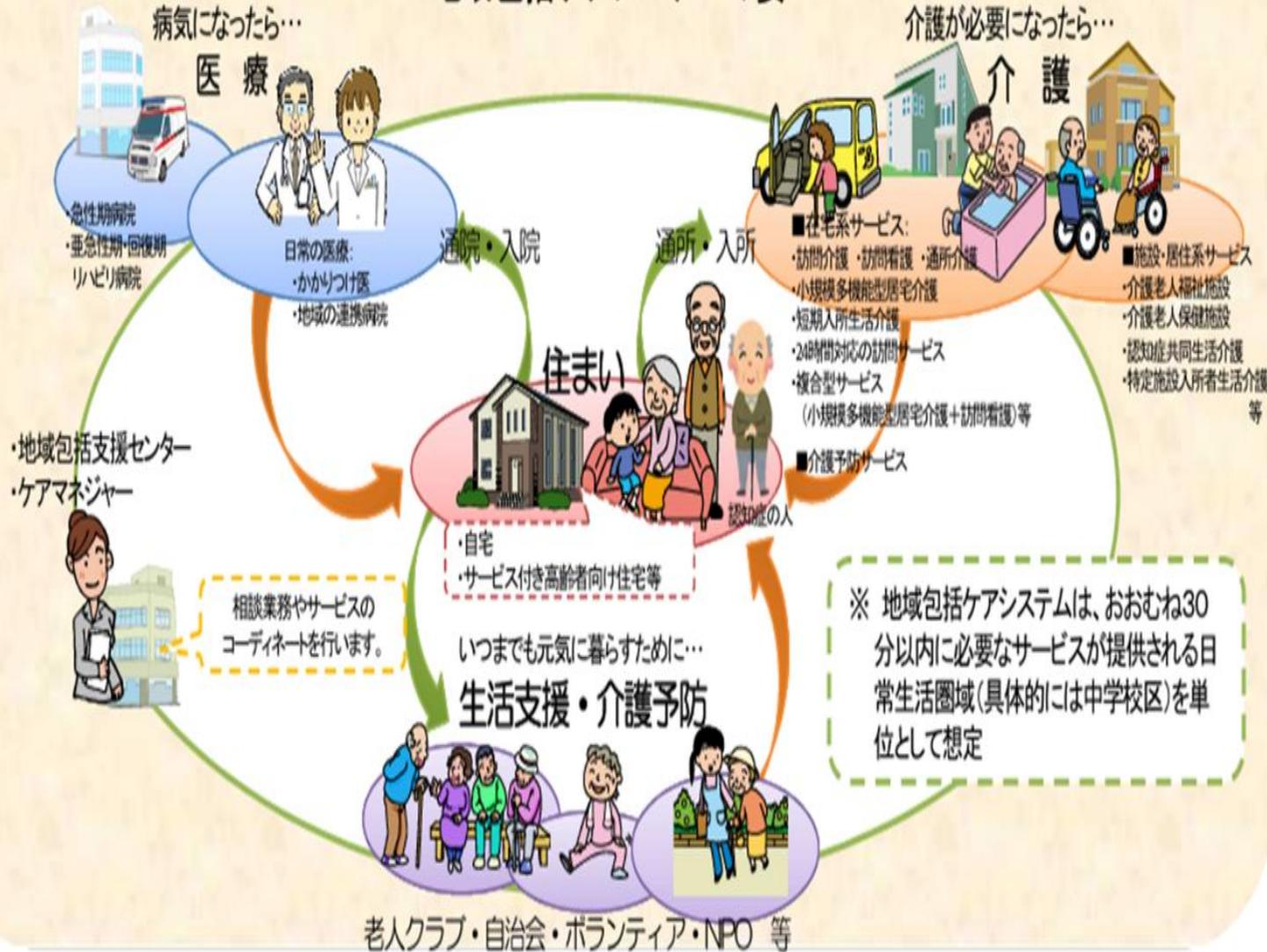
- ① **介護費用**  
本人やその家族への経済的影響
- ② **医療費の増加**  
社会全体での公的負担の増加
- ③ **経済活動の影響**  
労働者人口の減少

## ④ 地域社会と認知症

- 地域全体**で認知症の患者やその家族を支える**仕組み作り**が**重要**
- ① **地域包括ケアシステム**
  - ② **認知症サポーター**
  - ③ **認知症患者の社会参加の促進**
  - ④ **認知症の理解と啓発**

# 02 超高齢化社会と認知症：地域包括ケアシステム

## 地域包括ケアシステムの姿



## 厚生労働省 構築推進

2025年を目途に、高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援の目的のもとで、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、地域の包括的な支援・サービス提供体制（地域包括ケアシステム）の構築を推進

【出典：厚生労働省HP】

# 目次

01 協同組合の役割

02 超高齢化社会と認知症

03 JAグループのこれまでの取り組みと展開

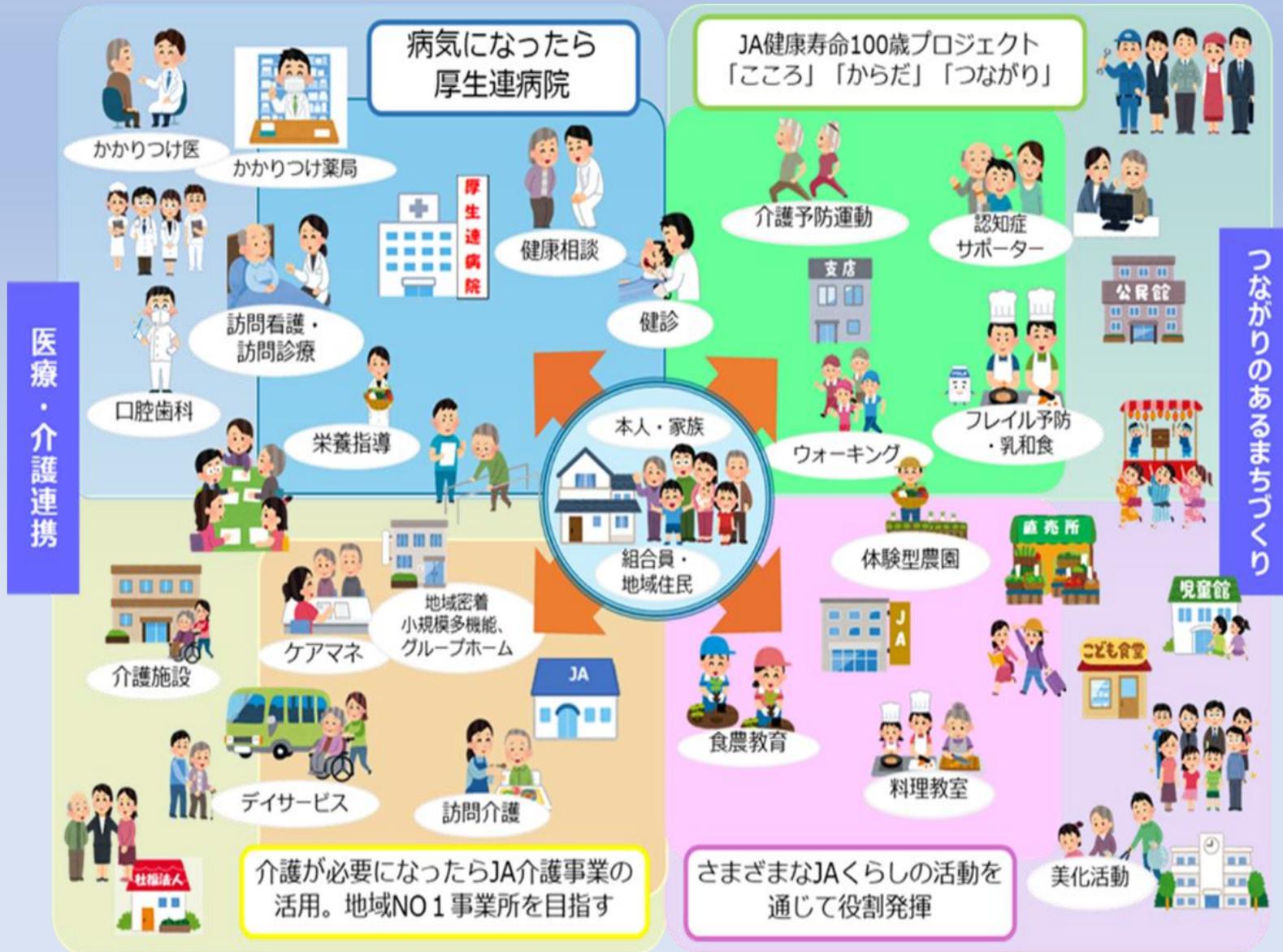
04 外部企業の先進的取り組み事例について

05 なぜ、JAが認知症対策に取り組むのか

06 改革提案

07 改革後のビジョン

# 03 JAグループのこれまでの取り組みと展開



## JA版地域包括ケアシステム

各地域のJAにおいては、多様な関係者と連携し、すべての高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できるよう「各JAの地域包括ケアシステム」の構築が重要

【出典：JA全国大会資料】

# 03 JAグループのこれまでの取り組みと展開

## ① JA共済連の取組内容

- ①JA共済の**脳トレ・能年齢チェック** : 特定の契約者は無料で利用可能
- ②**MCIスクリーニング検査**の施設紹介 : MCIのリスクを判定する検査可能な医療機関の紹介
- ③転倒予防**体操・レインボー体操** : リハビリ専門職おすすめ動画の公開

## ② 各県中央会の取組内容

- ①**JA介護予防運動**  
JAてんとうムシ体操やJAミツバチ体操、JA介護予防運動サポーターの養成
- ②**フレイル予防で健康寿命100歳へ**  
口腔機能の維持、摂食嚥下障害防止、栄養を意識したフレイル対策の案内

## ③ 関連会社の取組内容

- ①**JA共済総合研究所**  
「介護施設向けの集合研修プログラム」や「介護ノウハウ」を学ぶためのプログラムの実施

# 03 JAグループのこれまでの取り組みと展開

## 認知症基本法

令和6年1月1日に施行された「認知症基本法」では、  
「**金融機関等**及び**社会生活を営む基盤となるサービス**を提供する**事業者**」は、「**国及び地方公共団体が実施する認知症施策に協力する**とともに」、「**認知症の人に対し必要かつ合理的な配慮**をするよう努めなければならない」と**規定**

## 今後の展開

政府が進める「**地域包括ケアシステム**」を具体的に構築し、  
新たな事業展開へと繋ぐことが重要

# 目次

01 協同組合の役割

02 超高齢化社会と認知症

03 JAグループのこれまでの取り組みと展開

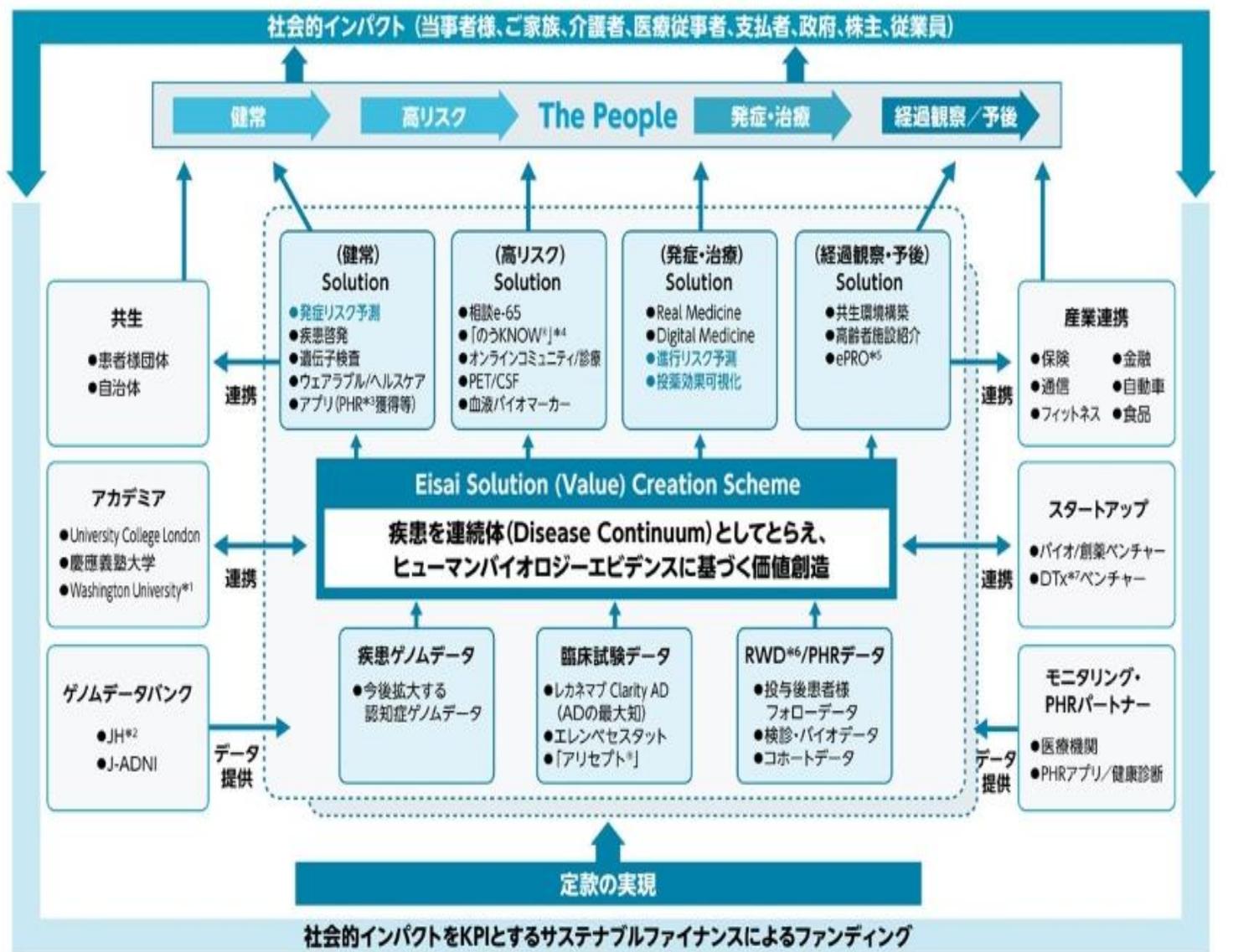
04 外部企業の先進的取り組み事例について

05 なぜ、JAが認知症対策に取り組むのか

06 改革提案

07 改革後のビジョン

# 04 外部企業の先進的取り組み事例について



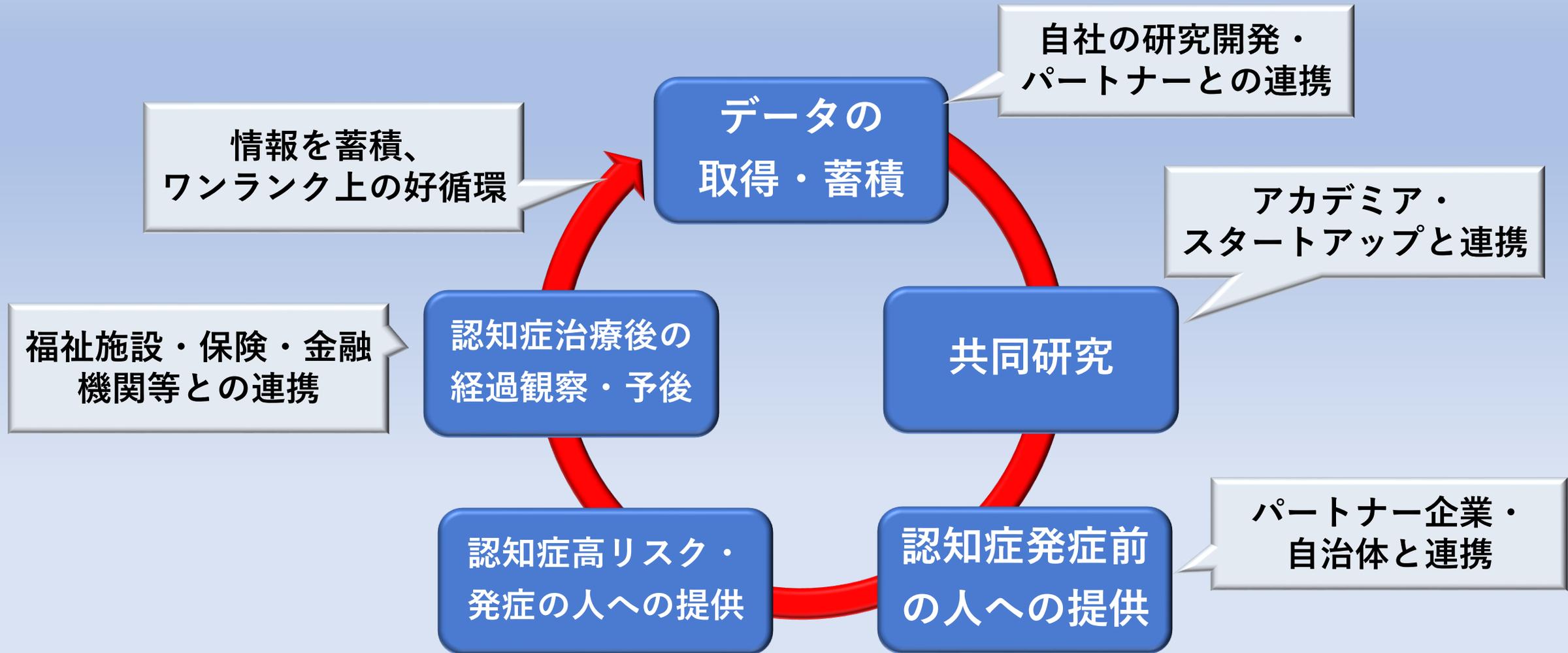
## エーザイ株式会社

解決すべき社会課題としてまず取り組むのが「認知症のhhc ecoモデルの構築」

※hhc = ヒューマン・ヘルスケア

【出典：エーザイ株式会社HP】

# 04 外部企業の先進的取り組み事例について



○ J A そお鹿児島版の好循環を生み出す「ビジネスモデル」の構築

# 目次

01 協同組合の役割

02 超高齢化社会と認知症

03 JAグループのこれまでの取り組みと展開

04 外部企業の先進的取り組み事例について

**05 なぜ、JAが認知症対策に取り組むのか**

06 改革提案

07 改革後のビジョン

# 05 なぜ、JAが認知症対策に取り組むのか

## ① 後継者問題

R5年11月「JAそお鹿児島 組合員アンケート」正組合員：600名（回収：560名）  
「後継者がいない：47%」「まだ分からない：31%」＝約8割が確保が困難

## ② 老老介護と親の介護

要介護者から見た主な介護者：同居人45.9%（配偶者22.9%・子16.2%・その他5.4%）  
主な介護者の年齢：男性75%、女性76.5%が60歳以上  
※近年では若い世代（20代～40代）の親の介護も増えている。

## ③ JAが取り組む意義

農業者：介護負担が軽減され、農業生産に注力できる  
後継者：農業に安心して従事できる  
認知症対策に取り組むことが、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」に繋がる

# 目次

01 協同組合の役割

02 超高齢化社会と認知症

03 JAグループのこれまでの取り組みと展開

04 外部企業の先進的取り組み事例について

05 なぜ、JAが認知症対策に取り組むのか

**06 改革提案**

07 改革後のビジョン

# 06 改革提案：JAそお鹿児島地域包括ケアシステム

## JAそお鹿児島地域包括ケアシステム

### 病気になった時



- JA鹿児島 厚生連
- ・巡回検診（管内7カ所で実施）
  - ・人間ドック（助成制度あり）
  - ・全国健康保険強化による生活習慣病予防健診
- 『健康増進活動による病気の早期発見  
・早期治療の提供』

### 介護が必要な時



- JAそお鹿児島
- ・通所介護施設（上肢・下肢・全身の運動ができる器具運動）
  - ・訪問介護事業（入浴や排泄、外出の介助や病院への付き添い、住居掃除や洗濯、食事の調理・片付け等）

- ・正組合員
- ・准組合員
- ・地域住民（員外）



### 行政、関連機関との連携

- ・地域包括支援センター（地域の保健・医療・福祉サービスの利用支援）
- ・社会福祉協議会（成年後見制度講習会、日常的な金銭管理サービス活用等）



### 地域で活性化

### 女性部活動の活用

- ・男性・女性料理教室、家庭菜園運動、学校への出前授業
- ・目的別グループ活動（フラダンス、手話コーラス、フラワーアレンジメント）
- ・健康体操教室、健康教室



### 日々の健康維持向上



認知症サポーター養成講座（全職員＋地域住民）



# 06 改革提案：具体的な取り組みについて①

## 取組内容

全職員に対する認知症サポーター養成講座の開催

認知症サポーター数(R6年12月現在)

15,982,083人

認知症サポーター養成 実施企業

- ・住友生命保険相互会社・明治安田生命保険相互会社・株式会社三菱UFJ銀行
- ・日本生命保険相互会社・株式会社ゆうちょ銀行・株式会社かんぽ生命保険 等

総合事業であるJAは「組合員・地域住民」と接する機会も多く、  
取り組みが遅れているJAでは、すぐにでも取り組むべきこと

# 06 改革提案：具体的な取り組みについて①

新入職員へ継続実施することで、  
好循環が生まれる

全職員に対する  
認知症サポーター  
養成講座の実施

認知症患者に対する  
組合員・地域住民の  
意識醸成

認知症患者・高齢者  
に対する理解促進

地域根差した組織としての社会貢献

CSの向上により  
組合員・地域住民の  
信頼構築

高齢者に対する  
接客対応の向上

## <サポーター養成講座 開催（案）>

講 師：生活指導員

開催場所：各支店（本店含7会場）

対 象 者：全職員（臨時職員含む）

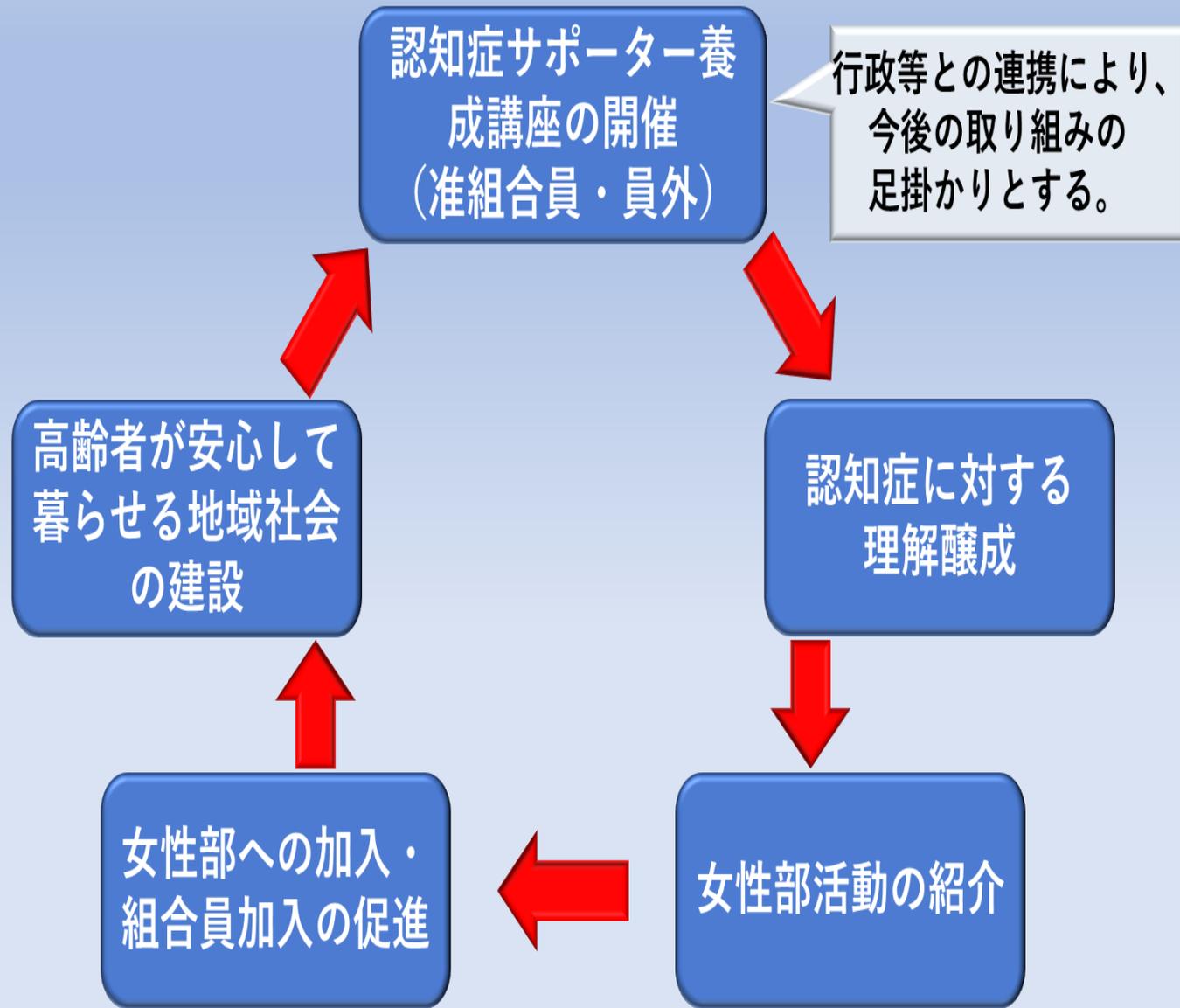
開催日程：午前・午後 1回ずつ

※本店のみ2日間開催

研修時間：90分

内 容：認知症の理解（症状と支援、  
本人と家族について等）  
認知症サポーターの役割 等

# 06 改革提案：具体的な取り組みについて②



「准組合員・地域住民の集い」を活用した  
**准組合員・地域住民**に対しての  
「サポーター養成講座の開催」

【認知症予防に有効な女性部活動の紹介】

- ①社会的フレイルの改善策  
→男女とも実施の**料理教室**
- ②身体的フレイルの改善策  
→**健康体操教室・健康教室**
- ③精神・心理的フレイルの改善策  
→**目的別グループ活動**(フラダンス等)

# 06 改革提案：具体的な取り組みについて③

## 取組内容

### JA鹿児島厚生連の巡回健診を活用した「認知症のスコアリングシート」の実施

#### <スコアリングシート実施方法（案）>

実施日：各地区（支店単位）の巡回特定健診日に合わせて実施

前年実績：大隅地区（7日間）、財部地区（6日間）、末吉地区（10日間）、  
松山地区（5日間）、志布志地区（4日間）、大崎地区（5日間）、  
輝北地区（4日間） 計41日間実施

実施場所：各地区の集合施設（巡回健診の場所）

対象者：全受診者のうち、検査希望の者

※前年4,429名受診者のうち、5%実施した場合は221名程度となる

実施方法：受付時に配布し、検診後、保健師と面談のうえ実施

周知方法：巡回健診の案内と合わせて、認知症検査の実施も周知する

判定結果：最高得点30点、20点以下が認知症の疑い

# 06 改革提案：具体的な取り組みについて③

認知症  
スコアリン  
グシート

判定結果  
21点以上

認知症予防の取り組み紹介や認知症予防講習会への参加を勧める

判定結果  
20点以下

JA鹿児島厚生連の保健師地域包括支援センターの紹介

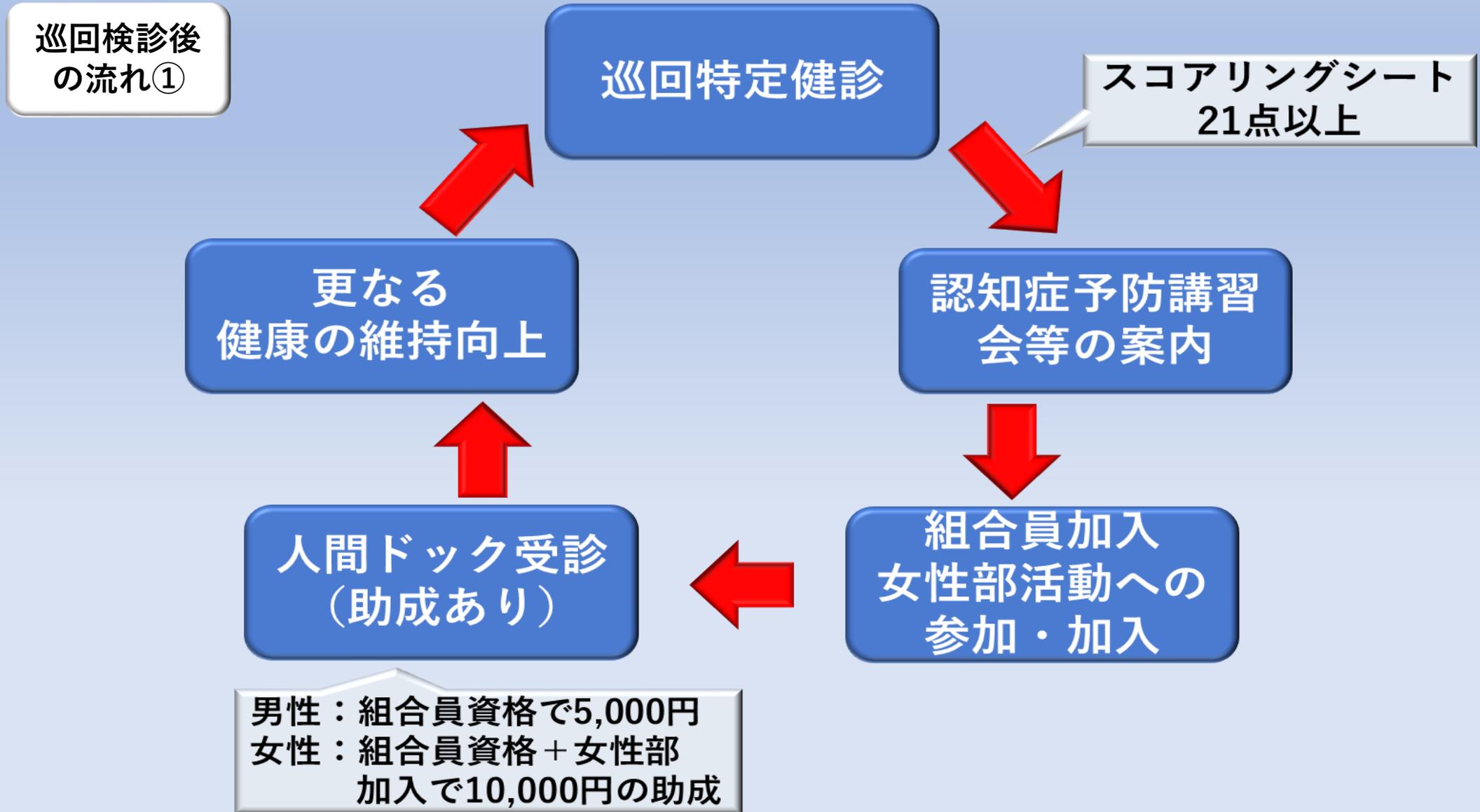
## 目的

「認知症の理解促進」と「認知症の早期発見」

「誰もがなりうる病気」であり、「認知症のこと」や「自分自身のこと」をより早く知ること、今後の対応も変わってくる

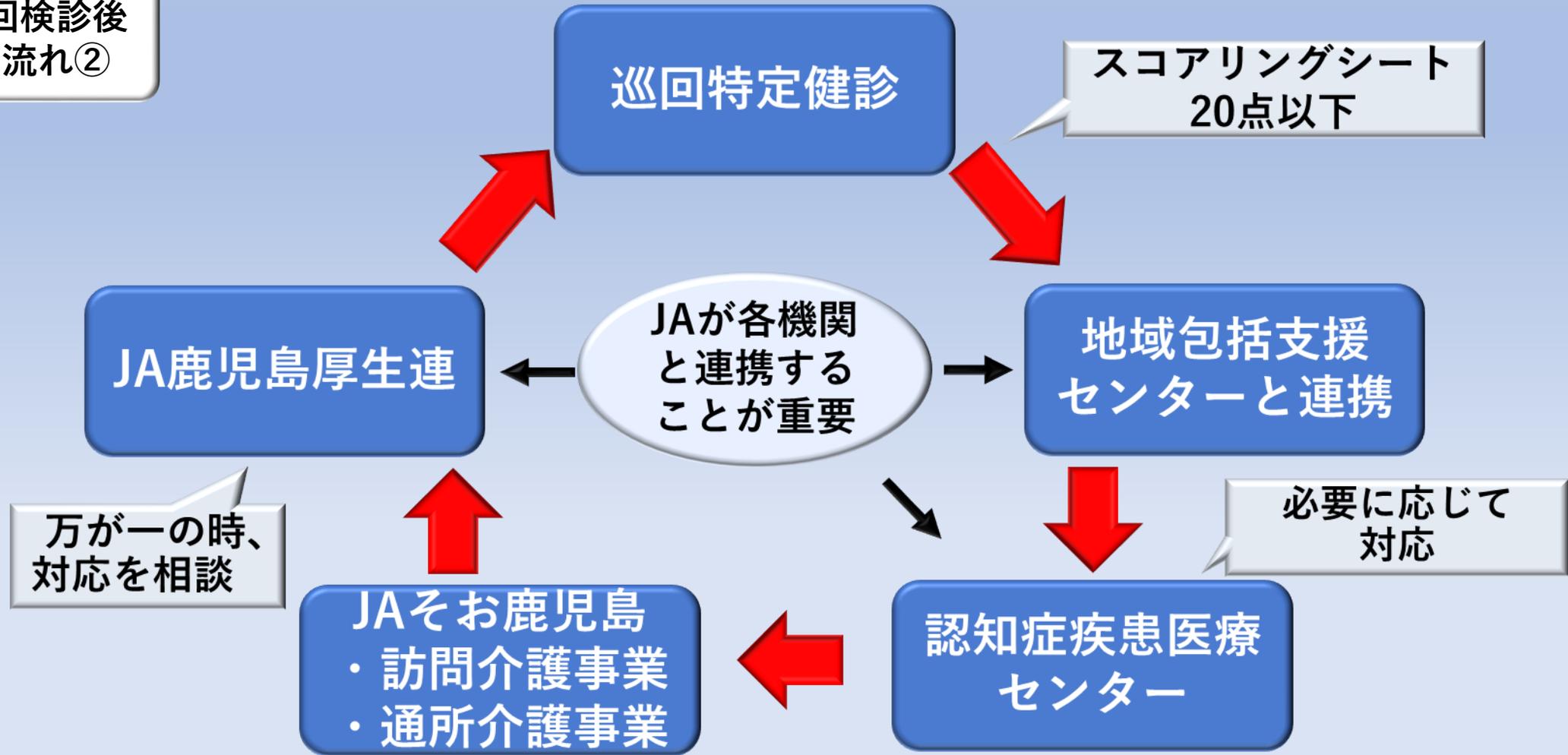
「軽度認知障害」であれば、1年で約5～15%の人が認知症に移行する一方で、1年で約16～41%の人は健常な状態にることがわかっている。  
そのため、早期からの認知症予防対策が重要

# 06 改革提案：具体的な取り組みについて③



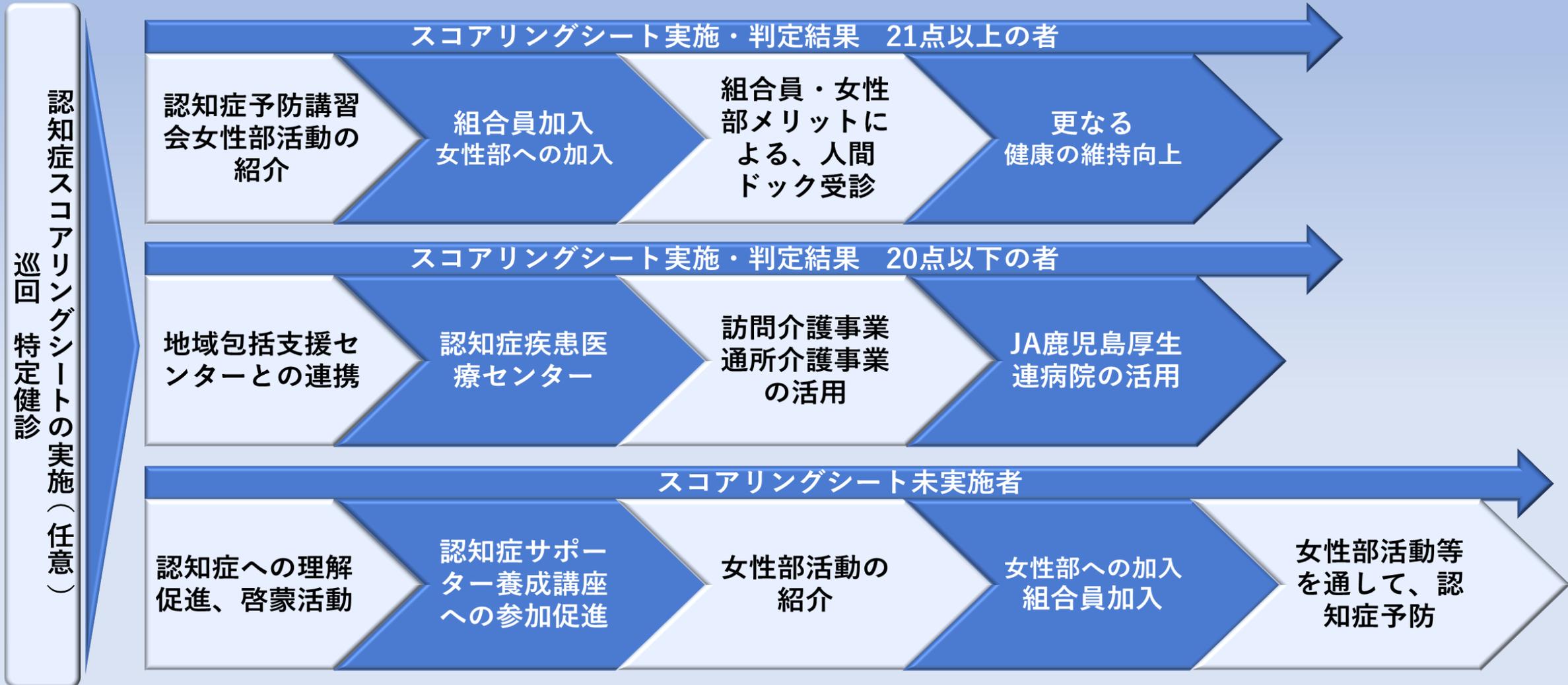
# 06 改革提案：具体的な取り組みについて③

巡回検診後の流れ②



# 06 改革提案：具体的な取り組みについて③

## 巡回検診後まとめ



# 06 改革提案：共済事業への普及拡大①

認知症の経済的影響「介護費用」  
介護保険制度だけでは補いきれず、  
認知症患者やその家族に経済的影響  
を与えている

職員からの  
アプローチ

全職員に対する  
認知症サポーター  
養成講座の実施

介護共済・認知症  
共済の契約増

認知症・高齢者に  
対する理解向上

組合員・地域住民  
との信頼関係の  
構築

組合員・地域住民  
への対応の深まり

# 06 改革提案：共済事業への普及拡大②

認知症の経済的影響「介護費用」  
介護保険制度だけでは補いきれず、  
認知症患者やその家族に経済的影響  
を与えている

組合員等からの  
アプローチ

JAそお鹿児島  
高齢者・認知症対  
策の強化

共済事業の拡大

組合員・地域住民  
の認知症への  
理解醸成

介護共済・認知症  
共済の契約増

介護共済・認知症  
共済へのニーズの  
高まり

# 06 改革提案：信用事業への普及拡大

信用事業においての高齢者・認知症対策として重要な取り組みは、本人の認知判断能力が低下した際の貯金（預金）取引である。

社会福祉協議会との連携

社会福祉協議会等による研修を職員・組合員・地域住民向けに開催

成年後見制度の研修受講

社会福祉協議会・士業等との連携強化

相続対策の強化  
(流出の防止)

成年後見制度の理解醸成

本人・家族への理解醸成

支店窓口・渉外担当者・女性部活動を通し、理解促進

# 06 改革提案：改革による経営基盤・組織基盤の構築

一連の流れによる取り組みは、全国のJAで課題となっている「**経営基盤・組織基盤の構築**」に向けた新たなビジネスモデル

JAそお鹿児島の経営安定化

## 【経営基盤の構築】

- ・ 共済事業の契約増加
- ・ 経済事業の利用増加
- ・ 信用事業の貯金流出の防止

## 【組織基盤の構築】

- ・ 組合員加入の促進
- ・ 女性部加入の促進及び活動の活発化

高齢者・認知症対策の取り組み強化

# 06 改革提案：地域社会の建設に向けたプロセス

各事業部門の連携と情報の蓄積により好循環を生み出す

認知症サポーター養成講座

**【理解促進】**  
高齢者・認知症についての理解と知識の蓄積が重要

**【職員向け】**

- ・全職員を対象に生活指導員による「認知症サポーター養成講座の開催」

**【組合員・地域住民向け】**

- ・自治体＋全国キャラバン・メイト連絡協議会による「認知症サポーター養成講座の開催」

- ・自治体
- ・全国キャラバン・メイト連絡協議会との連携

J A ぞお鹿児島を中心に認知症サポーターの輩出

**【特定巡回健診】**

- スコアリングシートの実施
- ・認知症に対する理解促進と認知症の早期発見を目的に実施。
- ・判定結果により、その後の対応方法検討

**【共済事業】**

- ・渉外担当者のアプローチ手法の変化
- ・介護共済・認知症共済のニーズ高まり

**【信用事業】**

- ・高齢者等に対する窓口対応の変化
- ・成年後見制度に対する理解促進

**【女性部活動】**

- ・認知症予防講習会
- ・健康体操教室、健康教室
- ・フレイル予防対策（社会的・身体的・精神・心理的）

**【地域包括支援センター】**

- ・当JA管内の地域包括支援センターとの連携

**【JA共済連】**

- ・MCIスクリーニング、レインボー体操等の活用

**【社会福祉協議会】**

- ・成年後見制度研修会の開催（職員・地域住民等）

**【厚生連事業】**

- ・組合員、女性部資格活用による「人間ドックの受診」
- ・受け入れ病床の確保

**【経済事業】**

- ・訪問介護事業
- ・通所介護事業の利用促進

**【共済事業】**

- ・介護共済・認知症共済の契約増

**【信用事業】**

- ・相続対策強化による貯金流出の防止

**【農業生産力の向上】**

- ・認知症対策推進による介護負担の軽減

安心して暮らせる豊かな地域社会の建設

# 目次

01 協同組合の役割

02 超高齢化社会と認知症

03 JAグループのこれまでの取り組みと展開

04 外部企業の先進的取り組み事例について

05 なぜ、JAが認知症対策に取り組むのか

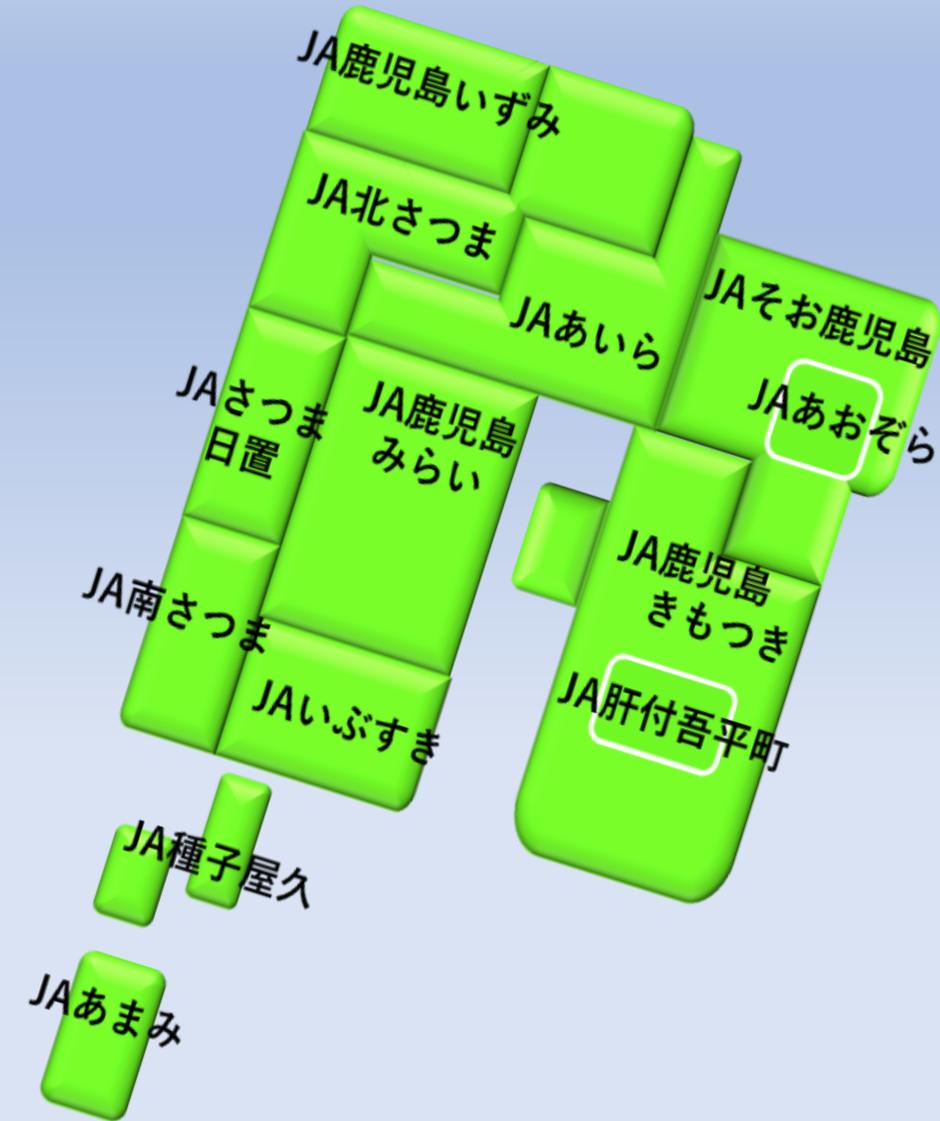
06 改革提案

**07 改革後のビジョン**

# 07 改革後のビジョン：JAグループ鹿児島島の取組

- 鹿児島県には13の総合JA
- その内7JAは、訪問介護・通所介護事業への取り組み
- JA鹿児島厚生連による「特定巡回健診」も毎年全JA実施

JAそお鹿児島の取り組みを  
JAグループ鹿児島の取り組みへ横展開  
鹿児島県全体で  
「高齢者が安心して暮らせる  
豊かな地域社会の建設」



ご清聴ありがとうございました

